

# あなたも、わたしも、自分らしく!!

## 男女共同参画社会を目指して

厚生労働省では、働く男性が育児をより積極的にすることや、育児休業を取得することができるよう、社会の気運を高めることを目的にイクメンプロジェクトを6月17日スタートしました。

今号では、積極的に育児を楽しむ男性 = 『イク（育）』と『メン（男たち）』 = イクメンから聞いた、子育てにかかわっての体験談を紹介します。

また、登別市や近隣市で活躍する女性の割合や統計についてもお知らせします。



### 20代、30代、40代のイクメンに聞きました!

- ①育児をしていたときにあった良かったと思う施設や制度、サービスは何ですか?  
※いつの時代でもOKです。
- ②どの程度育児にかかわっていましたか?
- ③育児をやった良かったことって何ですか?
- ④産後ママ制度って知っていますか?
- ⑤そのほか意見がありましたら記入ください。

- ①デパートなどでオムツを替えるところは何か所か見たことがあります。授乳施設が設置されていれば良いと思いました。また、子どもの健康を考えると、飲食店はたばこの分煙をするのではなく、禁煙にしてみたいです。
- ②生後半年は、ほとんどかかわれませんでした。現在は残業があるとき以外は平日の夜や土・日曜日など子どもをお風呂やおむつ交換、ご飯を食べさせるなど積極的に言うようにしています。
- ③子どものどんどん成長していく姿が見られました。子どもとかかわることによって子どもが懐いてくれました。子どもの笑顔を多く見ることができました。
- ④知っています。

【20代 1歳1ヶ月男子の父】

- ①幼少期の時ですが、遊具がそろっている公園が富岸町くらいにしか無く、それも小規模なため、室蘭市や苫小牧市まで充実した公園を求めて行っていました。今年は特に暑かったので、安心して水遊びができる機能も備えた公園が市内に1カ所あれば子育て世帯は非常に助かると思いますし、要望も高いのでないでしょうか。
- ②掃除・風呂洗いなど間接的な育児支援で多少はかかわっていたというのが実情です。ただ、休日はできる限り外遊びをするように心掛けていました。
- ③一番は、親のありがたみが分かったことです。それと、子育てによって親もいろいろ考えさせられたりすることで親も成長していると思っています。
- ④産後の一定期間内に、育児を手伝ってくれる親などが近くにいない場合に、家事や買物などの後方支援を行ってくれる比較的、新しい制度です。
- ⑤最近は特に「子どもは親の背中を見て育つ」ということを意識しています。今も昔も「いまだきの若者は」という言葉を聞きますが、自分の子どもがそう言われないように家庭でしっかり教育したいと思っていますが…。

【40代 高校3年男子と中学3年男子の父】

- ①子どもが小さい時（3歳ぐらい）に遊び（散歩など）に連れて行く場所が、室蘭の入江公園だったので、そのような公園があったら良かったと思います。
- ②おむつ取り換え、風呂入れ、掃除機、風呂掃除、ごみ出し、トイレ掃除（現在も継続中）、茶碗洗い、洗濯（現在はときどき）
- ③おむつ取り換えや風呂に入れることにより、子どもとスキンシップが取れる。育児をすることにより、妻との考え方などを共有できる。
- ④知りません。

【30代 小学3年生男子の父】

育てる男が、家族を変える、社会が動く。



イクメンとは、子育てを楽しむ、自分自身も成長する男性のこと。または、将来そんな人生を送ろうと考えている男性のことです。イクメンがもっと多くなれば、妻である女性の生き方が、子どもたちの可能性が、家族のあり方が大きく変わっていくはず。そして社会全体も、もっと豊かに成長していくはず。

今、育児にもっとかかわりたいという男性が多くなっています。また、制度改正により男性も育児休業が取りやすくなりました。このような環境づくりに、社会全体で、より積極的に取り組んでいくため、プロジェクトを推進しています。イクメンプロジェクトは、イクメンの皆さんはもちろん、ご家族、企業、地域の皆さんなどのサポーターとともに育てていく、一大ムーブメントです。家族のあり方を、社会を大きく動かしていくプロジェクトに、あなたも参加してみませんか？



▲「そうちゃん、おいしいよ」。楽しそうに長男の颯心君に離乳食を食べさせる北村さん